

陽気な春 水が呼んでいます

水辺は危険でいっぱい



アメツコ雨が過ぎてからは、めつきり春らしくなり、二月にかなり降り積もった雪も、解けて大分なくなってきました。また、野山では、固かった木の芽も膨らみ始め、フキノトウも顔を覗かせるようになりました。

こうした時期に怖いのが雪解けでの増水などによる水難事故です。この時期は子供たちが陽気に誘われるままに水辺に近づきたがるものです。また、雪解けで増水した河川は流れも速く危険がいっぱいです。みんなが水の怖さを再認識し、水難事故を未然に防ぐように心がけたいものです。

これからの時期 子供から目を離さないで

これからの時期は気温がさらに上昇するため、雪解けが一気に進みます。そのうえ、幼稚園や学校は春休みに入ります。今までは日中でも大人の目が行き届いていました。しかし、休みに入ると、子供たちは朝からでも危険な状態の川や沼などへ飛び出す可能性があります。しかも子供たちだけで、これからは、自分の目が届かな

かったら近所のかたに頼むとか、水辺に近づく子がいたら注意するなどするように心がけてください。

こんなにあります 雪解け時の水の怖さ

住宅周辺には雪がほとんどなくなり、雪解けによる増水なんてもうないので、と思っっているかたもいることでしょう。しかし、川の上流部の高い山にはまだまだ雪が残っています。近くに雪がないからと安心はできません。

今の時期には川や沼、水路などに次のような普段予想のつかないような危険がいっぱいです。

河川では

増水がもたらす危険というのは、単に水の量が増えるから危険だというのだけではありません。

① 増水すると流れが速くなり、川岸でも足をとられてしまうことがあります。

② 急な流れにより、川底が削られ、川岸が急に深くなっていることがあります。しかも、水が濁っていることからそれが確認できません。

③ 川岸、堤防などに水がしみこんでいるため、柔らかく、崩れやすくなっています。

④ 普段よどんでいるところにも流